

定例記者会見

日時 令和3年12月24日(金)

午前10時～

場所 越前市役所 3階 大会議室

1 市長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の県内の新規感染者は、12月23日までに44日連続で報告されていませんが、12月に入り、新たな変異株「オミクロン株」の感染者が国内でも確認され、第6波への警戒感が高まっています。

先日、報道の皆さんにお知らせしたとおり、本市では、新型コロナウイルスワクチンの3回目接種を12月から開始しました。当初、2回目接種からの接種間隔は8カ月以上としていましたが、1カ月前倒しして実施しています。その対象者となっている高齢者の方がスムーズに接種できるよう接種体制を見直し、強化しました。今後も国の方針に基づき、市民の皆さんに安心して速やかにワクチン接種を実施できるように進めていきます。

2 発表項目

- 1 令和3年 越前市この1年 ・・・資料1
- 2 市ホームページの一部更新について ・・・資料2

本日の発表項目1番目「令和3年越前市この1年」についてです。これまで10大ニュースという形でしたが、今年1年を振り返るという意味でタイトルを「越前市この一年」とし、出来事が起こった順に項目を並べています。

1年を通して、新型コロナウイルス感染症の拡大は、市民にとって重大な出来事と受け止めています。

4月には、越前市役所と庁舎前ひろばが完成しました。また、新ごみ処理施設が本格的に稼働し、さらには、紫ゆかりの館がオープンしました。

5月には、北陸新幹線の新駅駅名が「越前たけふ」に決定しました。外観工事も進み、コウノトリが羽ばたくイメージの駅舎になっています。今後、周辺のまちづくりも進めてまいります。

6月には、今年もコウノトリのひなが羽ばたきました。

7月には、東京オリンピックが開催され、見延和靖選手がフェンシング男子エペ団体で日本人初、本市初の金メダルを獲得しました。大変おめでとうございます。

8月には、吉野瀬川ダム本体工事に着手しました。着実に進むよう県に働きかけていきます。

10月には、たけふ菊人形が70周年を迎えました。

11月には、私が市長に就任しました。新しい時代に向けてさまざまな施策を行いたいと考えています。

詳細については、資料1のとおりです。

次に、発表項目2番目「市ホームページの一部更新」についてです。

就任早々、地域ブランディングチームを発足し、情報発信の強化を進めてきました。その第1段として、市ホームページ内「市長の部屋」のページを「ようこそ市長室へ」にリニューアルしました。その中で、市長公式FacebookとTwitterを開設し、今後、市政情報や市長のつぶやきを発信してまいります。

また、市ホームページでは、地域ブランディングチームが制作した越前市のPR動画を配信します。動画は、越前市の営業部長である私と、福井PRモデルを務め、地域ブランディングチームの一員でもある岡崎さんがメインモデルとして登場しています。ドローンを駆使した美しい風景や伝統工芸品を伝えています。今後も映像を随時更新していきたいと考えています。

さらに、越前市公式YouTubeチャンネルを開設し、今後地域ブランディングチームが制作するPR動画を中心に市の魅力を発信します。メディアの皆さんのお力添えをいただきながら、あらゆる方法で市独自の情報発信を行ってまいります。

同じく市ホームページ内に、新しいコミュニケーションツールとして注目されているグラフィックレコードのページを作成しました。地域ブラン

ディングチームの一員である岩崎さんがグラフィックレコードを得意とし、作成したものです。パワーポイントのようなきれいな絵ではなく、手書きの手法が企業のプレゼンテーションツールとして活用されており、我々も活用できないかと考えています。

最後に、地域ブランディングチームが、市職員向けのドローン撮影とグラフィックレコードの自主勉強会を企画しています。これは、職員がそれぞれの立場でネットワークを生かして市の魅力を発信する組織づくりのための取り組みです。

地域ブランディングチームを発足後、講師を招いて勉強会を開催するなどしていますが、最終的には、新年度の予算や組織に引き継ぐよう検討しています。

私からは、以上です。

<地域ブランディングチームが作成したPR動画の視聴>

3 質疑要旨

【質問】 新型コロナワクチンの3回目接種について、①医療従事者等、②高齢者施設等の入所者・従事者等、③病院・有床診療所の入院患者・従事者等の①～③以外の65歳以上の方は、2回目接種の日から8カ月以上の経過を待たずに7カ月で接種できるよう接種開始時期を前倒しするのか。

【回答】 1カ月前倒しして対応していく。

【質問】 年末年始には人の往来が多くなるが、市内でオミクロン株の感染者が出た場合の対策を考えているか。

【回答】 オミクロン株の場合も従来どおりの対策を徹底して行う。海外から入国の際、検疫で発見されるケースが多いので、そのような情報をいち早く入手して、先手の対応を取っていく。

【質問】 越前市観光協会にもプロモーション動画があるが、どのような役割を持たせ、位置づけるのか。

【回答】 各主体がさまざまな方法で越前市を伝え、知ってもらい、来てもらうという意味では共通だと思うが、観光ビデオは誘客のためのツールであり、市の動画は市政を知ってもらうためのものである。多様な手段を講

じるのがよく、その一翼を市ホームページが担うことになる。

【質問】誘客チームの進捗状況もお聞きしたい。

【回答】地域ブランディングチームと足並みを揃えながら、専門家との意見交換会、市観光協会や県観光連盟との意見交換会を行ってきた。1月6日には観光庁の「地域における高付加価値なインバウンド観光地づくり検討委員会」の委員であり、富裕層旅行市場に精通している高野雅臣様との意見交換会を予定しているほか、観光連盟の観光スーパーアドバイザーとの意見交換会も予定している。意見交換を通じて、観光戦略の枠組みをつくり、新年度の予算や組織に反映させていく。

【質問】市長に就任し、1年をどう総括するか。

【回答】個人的には10月の市長選挙が非常に大きい出来事である。全体的には、新型コロナウイルスの1年であった。新たなオミクロン株へも対処しなければならない。ワクチン接種の対応やコロナで困っている人への支援などいくつか課題がある。

【質問】市のPR動画はこれで完結なのか、それとも更新していくのか。

【回答】更新していく。今回は従来の市役所のイメージを変えるために、若い人のアイデアやネットワークを生かして制作してもらった。今後、既存の動画なども加えて、ホームページなどで発信していくキックオフの動画と考えている。

【質問】グラフィックレコードをホームページに掲載するほか、どのように活用していくのか。広報にも掲載するのか。

【回答】グラフィックレコードで書き残したものを、市ホームページやSNSなどの広報媒体で活用していく。文字ばかりではなく、手書きで温かく気持ちを伝えることで用いたい。特に、市役所におけるコミュニケーションツールであり、市民とのコミュニケーションツールでもあり、市外・県外への発信ツールである。自主勉強会で学んだことを職員たちの創意工夫で活かしていくことが理想である。

【質問】プロジェクトチームを組織化するなど、来年度の方向性は深まりつつあるのか。

【回答】プロジェクトチームで今議論し、提案されようとしている施策や仕組みを事業や予算、組織の中に反映させ、4月以降はプロジェクトチームの組織化を図りたい。

【質問】 今年の漢字を1文字で表すとしたら何か。

【回答】 「新」である。

【質問】 自分自身が新しいステージに立ち、新しい市政を創りたいというのが一番の思いである。また、新幹線の新時代や新型コロナウイルスにも「新」の文字がある。